

## 中南米4か国 国際連携でバナナのTR4を防ぐ

米州農業協力研究所(IICA) 2023年8月25日

メキシコシティ 2023年8月25日(IICA)-エクアドル、コロンビア、コスタリカ、メキシコの民間部門と国際機関の代表者及び生産者は、バナナの栽培管理と、栽培の継続を危険にさらす病害であるTR4 (*Fusarium oxysporum cubense* tropical race 4 (FOC TR4))の侵入防止と防除に関するグッドプラクティス(模範事例)の経験を交換した。また、食品業界のすべての関係者が関与し、そのアプローチと管理に関する共同行動に合意することの重要性を強調した。

TR4に関するグローバルアライアンスと米州農業協力研究所(IICA)が主催したフォーラムでは、パネリストらが、予防と訓練、この病気に耐性のある新品種のバナナを大量生産するための遺伝的改良、及び植物の抵抗性を高め病気の伝染を止めるための制御方法の開発にセクターの取り組みを集中することの重要性に同意した。

フザリウム菌熱帯株4(TR4)は根を通して植物に感染し、致命的な萎凋病を引き起こす。この病気は、感染した苗等の移動や、靴、衣類、農具、車両に付着したり、排水や灌漑用水に含まれたりする汚染された土壌粒子を介して、新しい地域に広がる可能性がある。

メキシコでは、バナナ栽培は同国の15の州で行われており、最も収益性が高く、最も広がっている農業生態系の1つであるため、この病原体の蔓延は非常に深刻な脅威となっている。

IICAメキシコ代表のディエゴ・モンテネグロ氏は、バナナ生産の重要性を踏まえれば、共同行動をとらなければすべての食物連鎖が危険にさらされる可能性があり、そのため、食品業界のすべての関係者が関与して管理の経験を交換することが不可欠であると述べた。

同氏は、「地域のバナナ生産に影響を与えるこの災厄に協力して対処するために、さまざまな関係者間の連携を促し交流とコミュニケーションの場を形成することが不可欠である」と述べた。

TR4に対するグローバルアライアンスのガブリエル・ロドリゲス・マルケス事務局長は、フザリウム菌TR4の世界的な状況を概説し、生産性を向上させる病害管理方法について零細な生産者を訓練することの重要性を強調し、「食料生産における現代の遺伝科学の役割を受け入れ、すべての作物の生産性を向上させる病害防除の方法について小規模農家を訓練し、農場のバイオセキュリティを改善すること(気候変動が病気の蔓延を促進するため、これはすべての作物に不可欠)が重要である。」と述べた。

エクアドルのバナナ輸出業者協会(AEBE)の理事長であるマリアネラ・ウビラ氏は、コロンビア及びペルーとの国境での自由な人の移動を踏まえ、エクアドルでTR4に汚染されるリスクが高いバナナ農園を保護する必要性に言及した。同氏は、TR4と戦うための生産者を対象とした金融的支援の必要性を強調した。

ソコヌスコ地域(メキシコ、チアパス州)のバナナ生産者農業協会の専門技術者であるロマン・オクタビオ・パチェコ・ゴメス氏は、グアテマラとの国境での自由な人の移動を踏まえ、その地域のバナナプランテーションはTR4に汚染されるリスクが高いと強調した。

コロンビアのバナナ生産者協会(AUGURA)バナナ研究センター(CENIBANANO)のセバスティアン・サパタ所長は、コロンビアにおけるTR4に関するバナナ農園の管理についてコメントし、コスタリカの全国バナナ協会(CORBANA)の事務局長であるホルヘ・サウマ氏も、汚染のリスクが高いバナナ農園の現状について語った。